

トビウオ通信 (H24 第 4 号)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《平成 24 年度第 1 回日本海スルメイカ漁況予報》

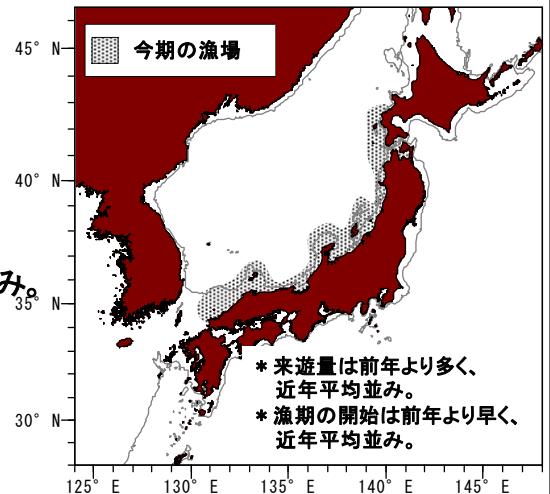
平成 24 年 4 月 27 日に水産庁および独立行政法人水産総合研究センター（日本海区水産研究所）より「平成 24 年度第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報 ※¹」が発表されました。今回はその概要と島根県沖でのこれまでのスルメイカ漁況を紹介します。

今後の見通し(平成 24 年 5 月～7 月)のポイント

対象魚種：スルメイカ
対象海域：日本海
対象漁業：主にいか釣り漁業
対象魚群：主に秋季発生系群

- (1) 来遊量：前年を上回り、近年平均並み。
- (2) 漁期・漁場：漁期の開始は前年より早く、近年平均並み。
漁場は石川県以北が中心。
- (3) 魚体の大きさ：前年より大きく近年平均並み。

* 近年は最近 5 年間(平成 19 年～平成 23 年)



(1) 来遊量

来遊量は、平成 23 年 10 月～11 月に実施されたスルメイカの幼生段階での調査（日本海スルメイカ稚仔分布調査）で前年・近年平均を下回る状況でしたが、平成 24 年 4 月に実施された漁期前段階での調査（スルメイカ新規加入量調査）で前年・近年平均を上回る状況であったため、「**前年を上回り、近年平均並み**」と予測されています。

(2) 漁期・漁場

漁期は、今後（4 月～6 月）の海水温が平年並み（平年は過去 30 年の平均値）で経過するとの海況予測（第 1 回日本海海況予報 ※²、独立行政法人水産総合研究センター平成 24 年 4 月 9

日公表) から「漁期の開始は前年より早く、近年平均並み」と予測されています。また、平成 24 年 3 月までの日本海西部 (福井県以西) でのスルメイカ漁況が前年及び近年平均を大きく下回ることから、漁場は「石川県以北が中心」と予測されています。

(3) 魚体の大きさ

魚体の大きさは、平成 24 年 4 月に実施された漁期前段階の調査 (スルメイカ新規加入量調査) による漁獲物サイズが前年と比較して大型の個体が多く、近年平均並みであったことから、「前年より大きく、近年平均並み」と予測されています。

※1、※2 の全文は以下をご覧ください。

※1 : http://abchan.job.affrc.go.jp/gk24/20120427_n.pdf

※2 : <http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr24/240409/20120409press.pdf>

島根県沖での漁況

主要 3 港 (浜田、恵曇、西郷) における小型イカ釣 (5 トン以上 30 トン未満) によるスルメイカの月別の水揚動向を図 1 に示しました。平成 24 年の 1 月～4 月までの水揚量は 224 トンで、近年の 25%、前年の 30%に留まり、低調に推移しました。

日本海では、1 月～3 月は主にスルメイカ冬季発生系群が漁獲されますが、平成 21

年以降低調な水揚状況が続いています。これは海水温等の条件によりスルメイカの南下経路が従来よりも沖合寄りに変化し、島根県沿岸域へのスルメイカの来遊量が少なくなっていることが原因と考えられます。

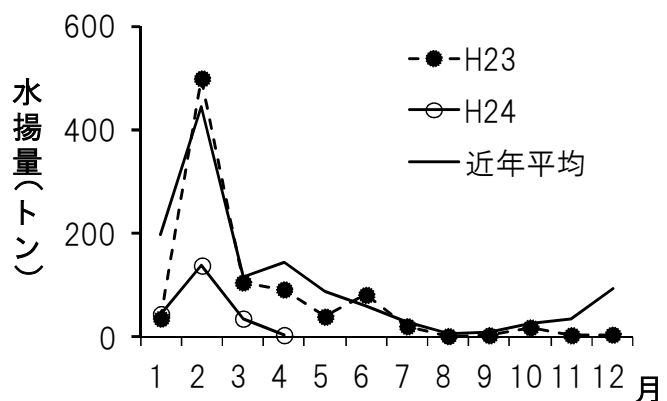


図 1. 主要3港(浜田、恵曇、西郷)におけるスルメイカの水揚動向